

日本機械学会 東北地区 特別講演会「XR とロボティクス」

主催 ロボティクス・メカトロニクス部門

共催 日本機械学会東北支部、岩手大学

開催日 2023年9月28日(木)、14:00~17:30

会場 岩手大学工学部テクノホール(〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5)

趣旨 近年、著しい進化を遂げている XR 技術 (VR, AR, MR の総称) は、我々の生活に広く浸透し、製造、医療、教育、防災、コミュニケーション、エンターテインメントなどの様々な分野で活用が始まっています。本講演会では、XR 領域の最先端技術に触れることで、ロボットの進化、ならびに人間の豊かな生活実現について、参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

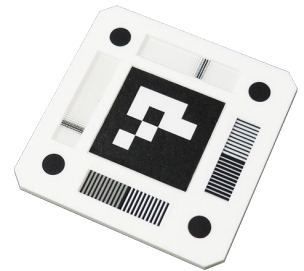
内容

14:00~15:00 特別講演 I

講師: 田中 秀幸 (産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究チーム長)

題目: サービスロボットの活用を促進する高精度マーカ

概要: 高精度マーカは産総研が開発した平面型の画像計測ツールです。特殊レンズ部品の利用により、カメラ 1 台で従来型 AR マーカの 10 倍以上高精度な 6 自由度計測が可能です。3 次元計測、拡張現実、測位への応用のほか、今後のサービスロボットの安全・確実な制御、および普及を支える「ロボットフレンドリー化ツール」としての利用が期待されています。本講演では、高精度マーカ技術の詳細、ロボティクス分野での応用・実用例、および今後の展望について解説します。高精度マーカは、計測技術としてユニークでありつつ、既存のさまざまな認識・計測技術と相補的な関係で共存可能です。



15:15~16:15 特別講演 II

講師: 北村 喜文 (東北大学 電気通信研究所 教授)

題目: 非言語情報が拓く人間性豊かなコミュニケーション
～ サイバー空間とリアル空間を活用する新研究

概要: 日常の対人コミュニケーションで重要な役割を担っている「非言語情報」のやりとりが、遠隔コミュニケーションを人間性豊かなものにするためにも不可欠である。最近注目されつつあるメタバース等、サイバー空間を活用する遠隔コミュニケーションシステムも、今後、さらなる利用拡大が期待されているが、そこでの人間性豊かなコミュニケーションを実現するためには、克服すべき課題は多い。本講演では、非言語情報の役割について概観し、それを適切に送受信することによる人間性豊かな遠隔コミュニケーションの未来について議論する。



16:30~17:30 機器展示 (体験会)

参加費 無料

参加申込 申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

問い合わせ先 岩手大学工学部機械科学コース 佐々木誠 / E-mail: makotosa@iwate-u.ac.jp